

1) 男性用の喪服^{もふく}

けいちょうりょうよう

慶弔両用に着られるブラックスーツ。白シャツ。黒無地のネクタイ。

くつした くろむじ
靴下も黒無地。

2) 女性用の喪服^{もふく}

黒のフォーマルスーツかワンピース^{ながそで}。長袖が原則。
スカートは膝下丈。黒い布のバッグ。



2 数珠^{じゆず}

しょうこう

はいれい

焼香時や拝礼のさいに用います。必ず準備してください。

3 ふくさ

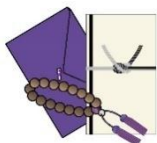
れいぜん

こうでん

霊前に供える香典をむき出しで渡すのは失礼に当たります。

もふく じゆず
喪服、数珠と一緒に「ふくさ」も用意しておいてください。

香典を「ふくさ」に包んで葬儀受付に出すと品があります^{そうぎうけつけ}



こうでん
香典の

金額

香典袋

香典の金額

こじん

故人との関係やあなたの年齢や立場などによって変わります。
地域や会社による約束事もあります。必ず相談してください。



葬儀の時は、黒白の水引きを使います。

表書きは、御霊前、御香典などと書きます。

差出人氏名は、表下部にフルネームで書きます。

住所、金額は裏に書きます。

アドバイス

お葬式はいつも急^{おおあわ} 大慌て あたふた

文化・風習 07-02	しゅうかつ 就活のインターンシップに参加しました。電話では失礼なのでお礼の手紙を書きます。書き方がわかりません。
考え方の基本	最近では電話やメールで用件を済ませることが多くなりました。 でも、お礼やお詫び、挨拶やお知らせは手紙やはがきを送るのがマナーです。
はがきと手紙	1 はがき 略式 (年賀状、暑中見舞、季節の挨拶、転居のお知らせ等) 2 手紙 正式 (目上の人宛、改まったお願い、お詫び等)
手紙書き方 マナーの ポイント	1 タイミングが大切です 贈答品の送り状やお礼状、お祝い事や弔事のお知らせや返事など、手紙やハガキのやり取りで大事なものはタイミングです。時期を逃してしまうと、それ自体が失礼な行為となり、相手に気持ちが伝わりにくくなるかもしれません。 2 敬語を正しく使いましょう 手紙では、相手に対して尊敬語を使い、自分には謙譲語を使います。 1) 丁寧語 ものごとを丁寧に表現します 2) 尊敬語 相手に対して敬意を表現します 3) 謙譲語 自分や身内についてへりくだって表現します

手紙の見本

<div>宛名</div> 株式会社〇〇〇〇〇〇 人事部採用担当者様へ	<div>日付</div> 令和 年 月 日	<div>結びの挨拶</div> 磨いて参りたいと存じます。 取り急ぎお礼を申し上げます。ありがとうございました。ありがとうございます。	<div>敬具</div> 敬具	<div>頭語</div> 謹啓 この度は、就業体験の機会を与えていただきましてありがとうございます。 初めての経験で、緊張している私に、社員の皆様はとても優しく接してくださり、言葉では表現できないほど感謝の気持ちでいっぱいです。短い経験でしたが、実際にお客様と接し、自分の言葉で伝えることの大切さを学ぶことができました。 こうした経験ができたことは大変勉強になっただけでなく、改めて貴社で皆様と一緒に働きたいという思いが強くなりました。このたびの経験を生かし、今後も自分を	<div>署名</div> 就活 太郎
	<div>署名</div> 所属名	<div>結語</div> 結語			



文化・風習 07-03	^{りっしゅん} ^{しゅうぶん} 立春や秋分はわかりますが、他の季節をあらわす ^{けいちつ} 啓蟄 ^{たいしよ} ^{とうじ} や大暑・冬至などわかりません。教えてください。
二十四節気 とはなに	^{せつき} ^{たいいんれき} 二十四節気とは太陰暦を使用していた時代（現代は ^{たいようれき} 太陽暦）に季節を表現するために使いました。日常会話でよく使いますので、覚えておくと役に立ちます。
春	<div> <div> ^{りっしゅん} 立春 (りっしゅん) 2月 4日頃 ^{うすい} 雨水 (うすい) 2月 19日頃 ^{けいちつ} 啓蟄 (けいちつ) 3月 6日頃 </div> <div> この日から立夏までの日が春 雪から雨に変わる頃、春一番が吹く 冬眠していた虫が穴から出てくる頃 </div> </div> <div> ^{しゅんぶん} 春分 (しゅんぶん) 3月 21日頃 ^{せいめい} 清明 (せいめい) 4月 5日頃 ^{こくう} 穀雨 (こくう) 4月 20日頃 </div> <div> この日はさんで前後1週間が彼岸^{ひがん} ^{ひゃっか} 百花が咲き競う季節 田植えの準備が整い、^{やわら} 柔かい雨が降る </div>
夏	<div> ^{りっか} 立夏 (りっか) 5月 6日頃 ^{しょうまん} 小満 (しょうまん) 5月 21日頃 ^{ぼうしゅ} 芒種 (ぼうしゅ) 6月 6日頃 </div> <div> この日から立秋までが夏 ^{ようき} 陽気がよくなり 草木が生長するころ ^{こくもつ} 穀物の種まきをする頃 </div> <div> ^{げし} 夏至 (げし) 6月 21日頃 ^{しょうしょ} 小暑 (しょうしょ) 7月 7日頃 ^{たいしよ} 大暑 (たいしよ) 7月 23日頃 </div> <div> 一年中で一番昼が長い時期 梅雨があけ、本格的な夏が始まる頃 夏の土用の時期 </div>
秋	<div> ^{りっしゅう} 立秋 (りっしゅう) 8月 7日頃 ^{しよしよ} 処暑 (しよしよ) 8月 23日頃 ^{はくろ} 白露 (はくろ) 9月 8日頃 </div> <div> この日から立冬の前日までが秋 ^{はぎ} 萩の花が咲き、朝夕快い風が吹きます 秋の風情がひとしを感じられる頃 </div> <div> ^{しゅうぶん} 秋分 (しゅうぶん) 9月 23日頃 ^{かんろ} 寒露 (かんろ) 10月 8日頃 ^{そうこう} 霜降 (そうこう) 10月 23日頃 </div> <div> 屋と夜の長さがほぼ同じになる頃 秋もいよいよ本番 山間部では霜^{しも}が降りて化粧^{けしょう}をする頃 </div>
冬	<div> ^{りっとう} 立冬 (りっとう) 11月 7日頃 ^{しょうせつ} 小雪 (しょうせつ) 11月 22日頃 ^{たいせつ} 大雪 (たいせつ) 12月 7日頃 </div> <div> この日から立春の前日までが冬 ^{ひざ} 陽射しが弱まり冷え込みが厳しくなる 山々は雪の衣をまとい冬の姿になる </div> <div> ^{とうじ} 冬至 (とうじ) 12月 22日頃 ^{しょうかん} 小寒 (しょうかん) 1月 5日頃 ^{だいかん} 大寒 (だいかん) 1月 20日頃 </div> <div> 一年中で夜が一番長い日 ^{かん} 寒の入りで、^{せつぶん} 節分までが「寒」 一年で一番寒さ </div> <div> の厳しい日 </div>

